

スプリングロール式スクリーン

IS-S80 / IS-S100 / IS-S120
IS-S80HD / IS-S100HD

取扱説明書

このたびはお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとききつとお役に立ちます。

1. 安全のために

製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使い方をすると、火災や人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項を必ずお読みください。

定期的に点検する

ご使用前に、スクリーンの巻き取り部分や取り付け部分などに、ゆがみ・ゆるみ・破損等がないことを確認してください。1年に1度は点検してください。

故障したら使用しない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店に修理をご依頼ください。

警告 下記の注意を守らないと火災や大けがの原因となります。

熱器具の側に置かない

ストーブやコンロのような熱器具の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。



火気禁止

分解／改造しない

正常に作動しなくなるだけでなく、部品が勢いよく飛び出し大けがの原因となることがあります。



分解禁止

スクリーンにぶら下がらない

スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしないでください。スクリーンが落下して大けがの原因となることがあります。



禁止

取り付けをきちんと行なう

スクリーンを天井や壁面に取り付ける際は、天井・壁面の強度を確認した上、しっかりと取り付けてください。取り付けが甘いとスクリーンが落下して大きな事故の原因となります。



注意

注意 下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

スクリーンを取り扱うとき

スクリーンを昇降させる際には、周りに人や障害物がないかを十分に確認してください。



注意

子供がさわらないようにする

お子様がスクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。



禁止

2. ご使用上の注意事項

設置場所について

次のような場所は避けてください。

- 湿度の高いところ、直射日光の当たるところ。
- ほこりの多いところ。
- 風が直接あたるところ。
- ストープや熱器具のそば。

スクリーンについて

スクリーンの反射性能を維持するために、次の点にご注意ください。

- スクリーンに直接手を触れないでください。
- スクリーンを折ったり、乱暴に扱わないでください。
- スクリーンに寄りかかったり、物をぶら下げたりしないでください。
- スクリーンに文字などを書かないでください。筆記用具の種類を問わず、消すことができなくなります。
- 通常のお手入れとして、スクリーンのほこりをとるときは、乾いた柔らかい布で拭くか、柔らかいブラシで払ってください。汚れがついたときは20倍に薄めた中性洗剤で軽く拭き、最後に水拭きして完全に乾燥させてください。
- ベンジン、シンナーで拭かないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

ご使用に際して

- スクリーンを引き下げる際には、付属のフック棒をご使用ください。
- スクリーンを希望の位置まで引き下げて、手を離してください。
- スクリーンを引き下げすぎないでください。製品に付いているストップシール以上に引き下げると故障の原因だけでなく、スクリーンが落下して大けがをする恐れがあります。
- スクリーンを巻き戻す際には把手部を軽く引き下げるにより自然に巻き戻ります。
- 巻き上がる際の上昇速度は、室内の温度環境によって多少変化しますが、故障ではありません。
- ※ ご使用のあとは必ずスクリーンをケース内に巻き戻してください。
- ※ スクリーンがケース内に完全に巻き戻らなくなった際は、速度調整ダイヤルを“速”の方向に操作し、巻き戻してください。

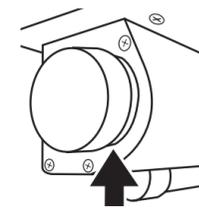
3. 速度調整機構について

スクリーン左端のダイヤルを操作することにより、スクリーンの巻き上がり速度を自由に設定することができます。ダイヤルを締めすぎたり緩めすぎたりすると、スクリーンが勢いよく上がりすぎたり、巻き上がらなくなったりすることがあり、故障の原因となります。調整するには必ず下記の手順並びに注意事項を守って操作するようにしてください。

1. スクリーンの巻き上げ速度を速くする場合

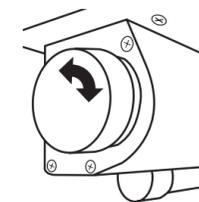
① 調整を行なう際は必ずスクリーンをケース本体に完全に巻き上げた状態で操作してください。スクリーンを引き出した状態で操作すると故障の原因となります。

② ダイヤル根元下方部にあるネジを緩めます。



ダイヤルと本体のスキ間にネジ穴があります。

③ ネジが緩んだことを確認し、ダイヤルをラベルの“速”の矢印方向に回します。この際ダイヤルを回しすぎると故障の原因となりますので、巻き上げ速度を確認しながら必ず1目盛りずつ調整するようにしてください。尚、ダイヤルを2周以上回転させると大きな故障の原因となりますのでそれ以上は絶対に回さないようにしてください。



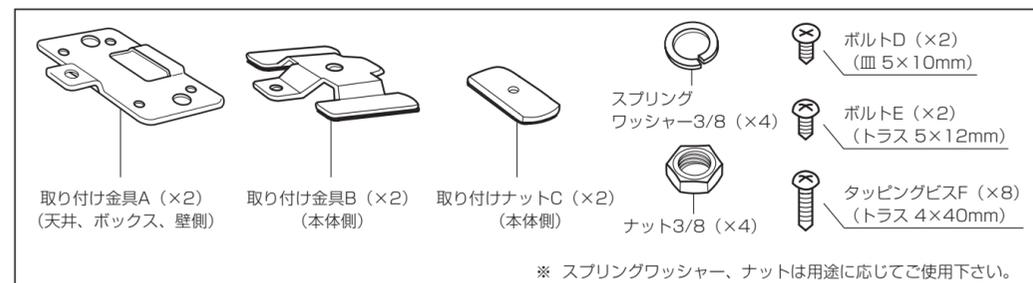
④ 適度な速度に調整が完了したら、最後に②で緩めたネジを完全に締め直してください。ネジが完全に締まっていないと、故障の原因となります。

2. スクリーンの巻き上げ速度を遅くする場合

手順としてはダイヤルを“遅”の矢印方向に回す以外は速度を速くする場合と同じです。尚、遅くする場合も速くする場合と同様に巻き上げ速度を確認しながら、2周以上は回転させないようにしてください。

4. 取り付け方法

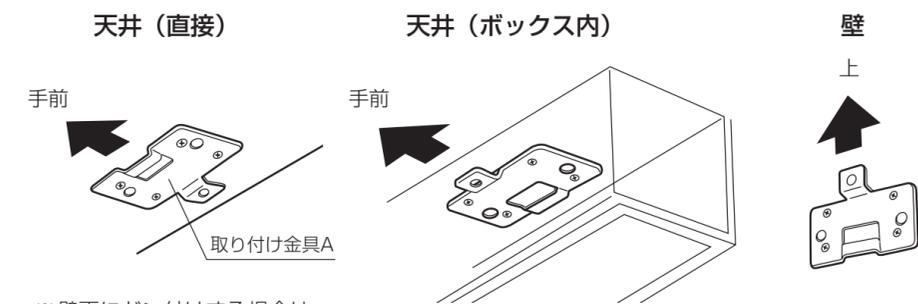
取り付け部品の説明



スクリーンの取り付け方法

1. 取り付け金具Aを設置場所に取り付ける

取り付け金具Aを天井(直接)、天井(ボックス内)、壁面等に取り付けます。
天井(直接)、天井(ボックス内)、壁面で取り付け方が異なりますのでご注意ください。

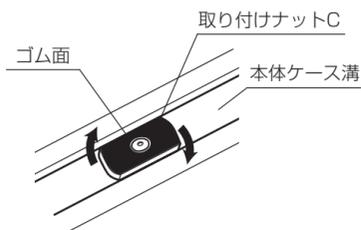


※ 壁面にドン付けする場合は、付属の型紙で位置決めを行なってから取り付けるようにしてください。

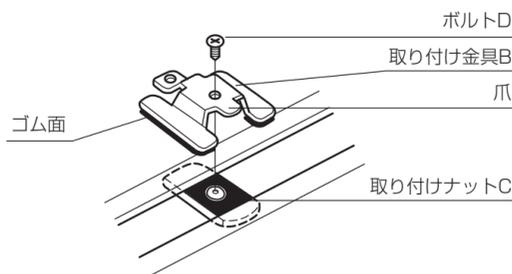
2. 取り付け金具Bを本体ケースに取り付ける

取り付け金具Bを本体ケースに取り付けます。

- 1 取り付け金具Bを取り付ける位置にしるしをつけます。
- 2 取り付け金具BのボルトDを緩め、取り付けナットCを外しゴム面を上にして本体ケースの溝に収めます。



- 3 本体ケースの溝の中で取り付けナットCを右方向に90°回転させ本体ケースから外れないようにした後、取り付け金具Bのゴム面を溝の両縁に渡した状態でボルトDを軽く締めて仮固定します。



取り付け金具Bから出ている突起が取り付けナットCの上に乗らないようにご注意ください。天井(直接)、天井(ボックス内)、壁面で取り付け金具Bの爪の方向が下表のように異なりますのでご注意ください。

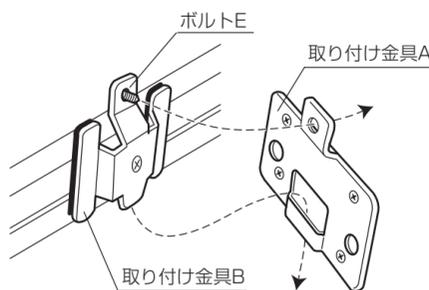
	天井(直接)	天井(ボックス内)	壁面
取り付け金具Bの爪の方向	手前	背後	下

- 4 取り付け金具Bを①のしるしに合わせた後、ボルトDを強く締めて固定します。
※ この時に取り付け金具Bから出ている突起が取り付けナットCの上に乗っていないか、取り付けナットCが溝方向に対し直角にセットされているか確認してください。

3. 本体ケースを取り付ける

壁(又は天井)に取り付けた「取り付け金具A」に本体ケースを取り付けます。

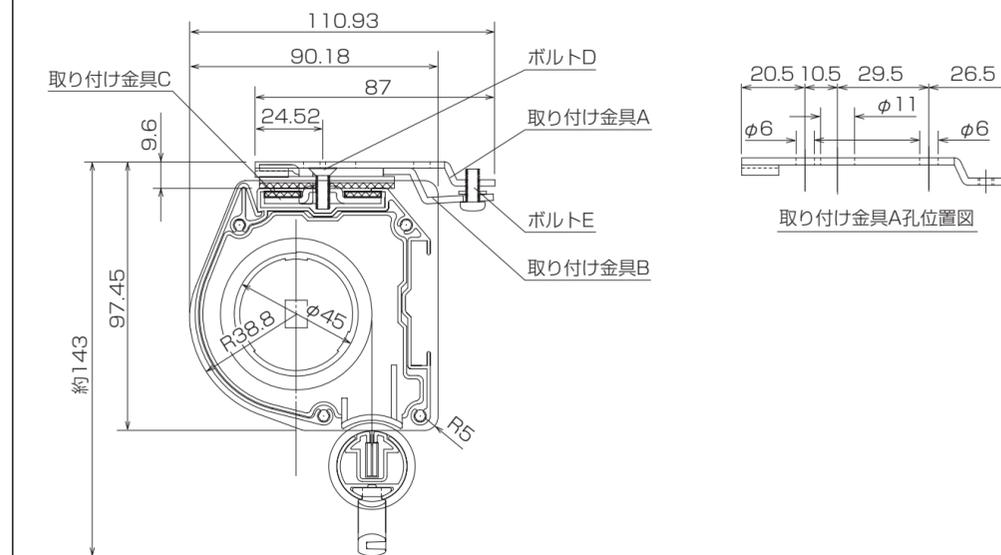
- 1 取り付け金具Bの爪を、壁(又は天井)に取り付けた取り付け金具Aの窪みに差し込みます。



⚠ 取り付ける場合は特に、スクリーン本体ケースが取り付け金具Aから抜け落ちないように注意し、施工の途中では絶対に手を離さないでください。

- 2 取り付け金具BのボルトEを取り付け金具Aのネジ穴に合わせ強く締め固定して完了です。

取り付け時寸法図 (天井取り付け時)

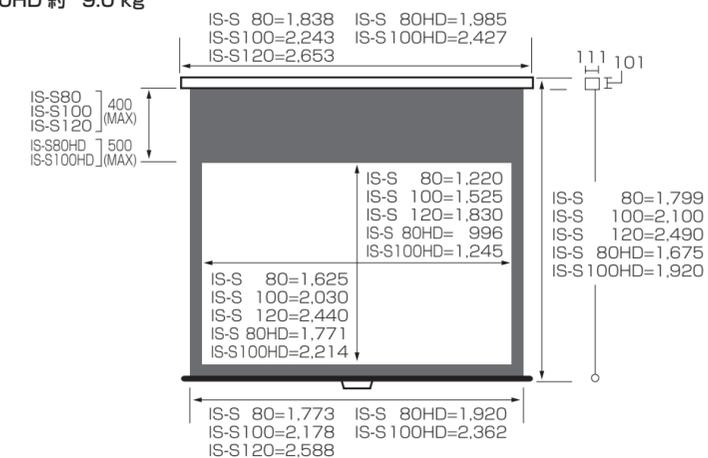


5. 製品仕様

基本仕様

重量: IS-S 80 約 7.0 kg
IS-S 100 約 8.7 kg
IS-S 120 約 10.3 kg
IS-S 80HD 約 7.4 kg
IS-S 100HD 約 9.0 kg

寸法表 (単位はmm)



製造元・問い合わせ先:

泉 株式会社 樹脂事業部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号 (三井二号館) TEL:(03)3279-1606